

IDT[≡]CH[®]

Value through Innovation



BTScan[™] **バーコードスキャナ** **ユーザマニュアル**

80126502-001 rev.A

概要

目次	1
はじめに、簡単なトラブルシューティング	2-3
クローニングモード	4-5
スキャナとターミナルの接続	6-7
ケーブルの変更	7
パラメータのセットアップ	8

設定グループ (1-14)

1. インターフェース選択、コンピュータタイプ、デフォルト、セットアップコード ON/OFF	9
2. 読取モード.....	10
ワイヤレススキャナ設定	11-13
3. チェックバージョン、ビープトーン、ターミネータ	14
4. データ長送信、プリアンブル、ポストアンブル	15
5. 精密性調整.....	16
6. Code ID、ラベルタイプ ポジティブ/ネガティブ	17
7. シンボロジーコード識別子.....	18
8-9. Code ID 設定、ユーザ設定	19-20
10. ブロックとキャラクタ間のディレイ ..	21
11. キーボードレイアウト/ CAPLOCK モード/数字キー.....	22
12. RS232: ボーレート、データビット、パリティ	23
13. RS232: ストップビット、ハンドシェーキング、ACK/NAK、フローコントロール、BCC	24
14. ワンドエミュレーションパラメータ設定	25

シンボロジーのフォーマット (グループ 15-32)

15-17. シンボロジーのイネーブル/ディセーブル	26-28
17. China postcode(Toshiba code).....	28
18. MSI code, UK Plessey code.....	30
19. Code 93, Telepen, IATA.....	32
20. Interleaved 2 of 5, Code 11	34
21. Industrial 2 of 5, Matrix 2 of 5	36
22. Codabar.....	38
23. ABC Codabar, CX Codabar	40

表2

No.	トラブルの種類	症状	対処方法
1	コンピュータタイプ (グループ1)	スキャナは正常に動作しているように見えるが、データが出力されない。	1. ホストコンピュータからケーブルを抜く 2. ホストコンピュータに再度ケーブルを挿す 3. スキャナを正しいコンピュータタイプに直ちに設定する
2	インターフェースの選択(グループ1) (グループ1)	トリガが押し下げされていると、スキャンされない。	1. ホストコンピュータからケーブルを抜く 2. ホストコンピュータに再度ケーブルを挿す 3. スキャナを正しいインターフェースに設定する。インターフェースに適したケーブルを使用する
3	設定手順が完了しない (設定に三重のスキャンが必要) グループ - 4, 5, 8, 9, 17, 18, 19, 20, 22, 23, 25, 31	スキャナはデータを出力せず、スキャン毎に3回ビープ音を鳴らす。 本症状は、三重スキャン設定が完了していないことを示す。設定によってはスキャンを3回行う必要がある。 以下のような場合: 1. Preamble, Postamble (グループ4)(14ページ) 2. Accuracy Adjustment (グループ5)(15ページ) 3. Customer ID Configuration (グループ8 & 9)(18-19ページ) 4. Min/Max Length (グループ17, 18, 19, 20, 21, 22, 25) 5. ABC Codabar (グループ22 & 23) 6. CX-Codabar (グループ22 & 23) 7. Coupling Codabar (グループ22 & 23) 8. EAN 128 グループ31)	1. 適切なページの設定の手順に従う 2. 設定が未了の場合、スキャナビープ音が3回鳴る 3. RESETをスキャンし再設定を行う
4	バーコード長の制限	スキャナは正常に読み取りしているが、特定のバーコードの特定のコード長が読み取れない。	関連のバーコードシンボロジーのMin/Max設定をリセットする
5	Setup Codeのディセーブル	デフォルトのバーコードをスキャンしてもデフォルトにリセットされず、“A001\$”のデータを出力する。	SETUP CODE ON(グループ1)をスキャンして、すべての設定コードをイネーブルにする。
6	RS232Cプロトコル通信設定の問題	スキャナは、RS-232Cインターフェースで正常に動作しているように見えるが、データが出力されない。	RS-232C通信パラメタが設定されていることを確認する: Baud Rate, Handshaking, Stop Bits, Data Bits, Parity これらの設定は、スキャナとホストで同じに設定する。

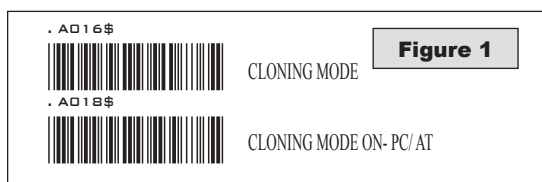
クローニングモード

クローニングモードの機能

「クローニング」はスキャナの設定を、他のスキャナにコピーします。複数のスキャナを同じ設定にする必要がある場合、時間を節約できます。

クローニングモードの動作

1. 本書を使用して、1個のワンドに必要な設定を行います。
2. 下記のCLONING MODEバーコードをスキャンします。
3. CLONING MODEをスキャンすると、すべての設定パラメータが英数字キャラクタに変換され、モニタに表示されます。
4. バーコードプリンタを使用して、すべての設定パラメータをCode 39 バーコードラベルとしてプリントします。
5. プリントしたラベルを他のワンドでスキャンし、プログラムします。



.A018\$ (PC/AT クローニングモード) – スキャナで選択されているデバイスにかかわらず、PC/ATに設定を複製できます。

注記：

1. クローニング文字列は、すべて大文字です。
2. ラベルにプリントされるクローニング文字列は、モニタの表示と同じ順番にします。
3. クローニングモードはWord Note Padのみで使用できます。
4. 最初の行 (.A017\$) のデータは編集しないでください。クローニングのエントリコマンドとなります。
5. クローニング文字列の長さは、複数の文字列を一つにまとめたり、一つの文字列を複数の文字列に分割して2番目の行"...."から開始するように調整できます。長さは、4, 8, 12, 16, 20 (最長) などの、4の倍数です。
6. モニタに表示されているドットを正確にプリントします。

クローニングのフォーマット

* クローニングのフォーマット：

- 1行目>>>" .A017\$" (1行目は変更しないこと)
- 2行目>>>" .XXXX" 文字列の長さを"...."ドットで始まるよう調整できます。
文字列の長さは、4, 8, 12, 16, 20 (最長) 桁となります。

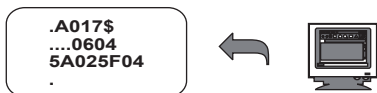
3行目 – >>>XXXX

最終行 – ドット" ." がクローニングの最後となります。

XXXXXは任意の文字列

例：

1. プロジェクトアサインメント：
 - 1.1. ビープトーン：BEEP LOW - HIGH
 - 1.2. Capslockモード：CAPSLOCK ON (FIXED)
 - 1.3. 読取モード：CONTINUOUS AUTO OFF
2. 設定手順：
 - 2.1. BEEP LOW - HIGHをスキャン（グループ3）（13ページ）
 - 2.2. CAPSLOCK ONをスキャン（グループ11）
 - 2.3. CONTINUOUS AUTO OFFをスキャン（グループ2）（10ページ）
3. すべてのパラメータは英数字キャラクタに変換されてモニタに表示されます。



4. モニタに表示された結果を、バーコードプリンタを使用してバーコードとしてプリントします。バーコードは、Code 39シンボロジーとなります。



5. 同一の設定をプログラムするワンドの一つで、上記ラベルをスキャンします。最初の行から2番目の行、上から下へ順番にスキャンします。

正しい設定

.A017\$ 0604 5A02 5F04 .	4 4 4 4 . (Dot)
.A017\$06045A02 5F04.	12 4+.(Dot)

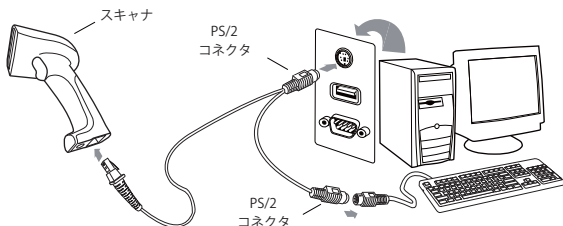
間違った設定

.A017\$0604 5A02 5F04 .	←	間違った設定：".."文字列はドット4個で、2行目の最初に位置します。 ".."を分割しないでください。
.A017\$06045 A025F04 .	✓ 9 x 7 x } ←	間違った設定：2行目と3行目の文字列の長さが、必要な長さに一致しない。 文字列は4の倍数になります。
.A017\$.... 0604 5A02 5F04.	X 4 ✓ 4 ✓ 4+.(Dot) ✓	間違った設定：.A017\$の後に、"...."を追加している .A017\$は、設定の入力に必要な決まったパラメータです。変更はできません。 最初の行は、データの追加、削除、変更は行わないでください。

HOW TO CONNECT THE SCANNER TO THE HOST TERMINAL: Handheld Barcode Scanner

キーボードウェッジインターフェース

1. ホストコンピュータの電源を落とします。
2. キーボードケーブルをコンピュータから抜きます。
3. Yケーブルで、キーボード、スキャナ、コンピュータを接続します。
4. コンピュータを再起動します。
5. スキャナがビープ音を発します。
6. グループ1 (9ページ) (インターフェース選択) を参照して、スキャナをキーボードインターフェースに設定します。
7. スキャナが、設定を確定してビープ音を発します。
8. バーコードをスキャンして、モニタに表示されるデータを確定します。

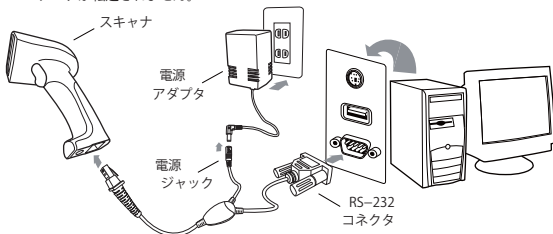


RS-232Cインターフェース

1. ホストコンピュータの電源を落とします。
2. RS-232Cケーブルで、スキャナとコンピュータを接続します。
3. 電源アダプタをケーブルに接続します。
4. コンピュータを再起動します。
5. 電源アダプタをコンセントに挿します。
6. スキャナがビープ音を発します。
7. グループ1 (9ページ) (インターフェース選択) を参照して、スキャナをRS-232Cインターフェースに設定します。
8. RS-232Cプロトコルを設定します: Baud Rate, Stop Bits, Handshaking, Data Bits, Parity
9. バーコードをスキャンして、モニタに表示されるデータを確定します。

注記:

1. スキャナを電源アダプタに挿す際は、スキャナとコンピュータに深刻なダメージを与えないために、電圧、消費電力、内部/外部DC特性が正しいことを確認してください。
2. スキャナのプロトコル通信設定（ボーレートやデータビットなど）が、ホストコンピュータの特性に一致することを確認してください。一致しない場合、データが転送されません。



電源アダプタの確認

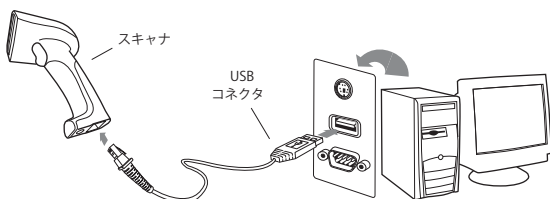
1. AC電流 110V/220Vの入力が、スキャナを使用する国の電源供給の標準に合致すること
2. アダプタ出力は+5V DC
3. 電源ジャックの入力は+5V DC



USBインターフェース

サポートするUSBインターフェースは、AppleのMACシリーズ、Windows 98, 2000, Me, XP, Vista以降のPCで互換性があります。

1. USBケーブルでスキャナとコンピュータを接続します。
2. スキャナがビープ音を発します。
3. スキャナがUSBドライバを自動的に検知します（スキャナを初めてUSBポートに接続する際は、ホストコンピュータの指示に従ってください）。
4. スキャナのKEYBOARD/USBインターフェースを、グループ1（インターフェース選択）を参照して設定します。
5. スキャナが、設定を確定してビープ音を発します。
6. バーコードをスキャンして、モニタに表示されるデータを確定します。

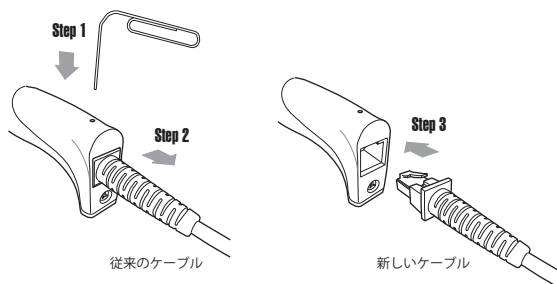


ケーブルの変更

本スキャナは、インターフェースオプションを簡単に変更できるよう設計されています。インターフェースを変更するには、適切なケーブルを使用する必要があります。ケーブルを変更するには、以下の手順に従います：

1. ケーブルを外すには、ケーブルが接続されているスキャナ底面の穴に、ピンカペーパークリップを伸ばしたものを差し込みます。
2. ケーブルをスキャナから取り外します。
3. 新しいケーブルを挿します。

新しいケーブルに変更したら、（RS-232Cインターフェースのパラメータ設定を含む）インターフェース設定を適切にリセットします。



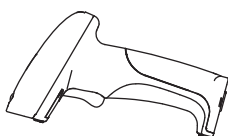
パラメータの設定

ユーザガイドを使用したスキャナのプログラム

1. スキャナを使用して、設定したい機能/パラメータを表すバーコードをスキャンします。
2. ビープ音が2回鳴ると、メモリプロセッサに新しい設定が定義またはアップデートされます。

デフォルトのパラメータは、太字と下線の文字で記載されています。
CD = Check Digit CDV = Check Digit Verification

通常の設定には、単一のバーコードのみ必要ですが、設定によっては、複数の異なるバーコードをスキャンする必要があります。以下のような場合です：



SETTING BAR CODE

プリアンブル/ポストアンブル (最長16桁)

- ステップ1：CLR PRE/POSTAMBLEをスキャン
- ステップ2：PREAMBLEまたはPOSTAMBLEをスキャン
- ステップ3：グループ34 - 44 (51.62ページ) のFull ASCII表で、任意の英数字をスキャン
- ステップ4：PREAMBLEまたはPOSTAMBLEをスキャン

最短/最長

- ステップ1：MIN LENGTHまたはMAX LENGTHをスキャン
- ステップ2：グループ41 (59ページ) で2桁をスキャン
- ステップ3：MIN LENGTHまたはMAX LENGTHをスキャン

精密性調整

- ステップ1：ACCURACY ADJUSTMENTをスキャン
- ステップ2：グループ5 (16ページ) で1桁をスキャン
- ステップ3：ACCURACY ADJUSTMENTをスキャン

カスタマー設定ID (例：Code 39)

- ステップ1：グループ8 (ページ18) で、CODE 39 SET IDをスキャン
- ステップ2：グループ34 - 45 (53-64ページ) のFull ASCII表で、1-2桁 (最大2桁) の英数字をスキャン
- ステップ3：グループ8 (ページ18) で、CODE 39 SET IDをスキャン

Dataの設定 - (CX-Codabar, ABC Codabar, Codabar Coupling)

- ステップ1：SET INSERT DATAをスキャン
- ステップ2：グループ33 - 44 (51-62ページ) のFull ASCII表で、1桁の任意の英数字キャラクタをスキャン
- ステップ3：SET INSERT DATAをスキャン

注記：

1. 設定が完了していない場合、スキャナはビープ音を3回鳴らして警告します。
2. 間違えてスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESETをスキャンすると、手順を最初から再開できます。

RESET



グループ1

インターフェース選択、コンピュータタイプ、デフォルト、セットアップコード

DEFAULT

.A001\$



COMPUTER TYPE

.C004\$



PC-AT

.C007\$



NOTEBOOK*

症状	対処方法
スキャナは正常に動作しているようにみえるが、データが出力されない。	1. ケーブルをホストコンピュータから抜く 2. ケーブルをホストコンピュータに再度挿す 3. スキャナを正しいコンピュータタイプに直ちに設定する

警告：スキャナを新しいホストコンピュータに接続する際は、正しいコンピュータタイプが設定されていることを確認してください。Notebookに設定されている場合、スキャナは外部キーボード無しで動作します。

.C005\$



USB KB



.C008\$



USB KB



INTERFACES SELECTION

.C001\$



PS2

.C002\$



RS232

症状	対処方法
ワンドがスキャンをしない/トリガが押し下げられているとスキャナがスキャンしない。	1. ホストコンピュータからケーブルを抜く 2. ホストコンピュータに再度ケーブルを挿す 3. ワンドを正しいインターフェースに直ちに設定する。 ケーブルはインターフェースに一致する必要がある

警告：本スキャナは、インターフェースオプションを簡単に変更できるように設計されています。インターフェースを変更するには、適切なケーブルを使用する必要があります。ケーブルを変更した場合は、インターフェース設定を適切にリセットしてください。

SETUP CODE READ

.B015\$



SETUP CODE ON

.B016\$



SETUP CODE OFF

警告：SETUP CODE OFFをスキャンすると、スキャナはプログラムできない状態になり、セットアップコードに反応しなくなります。

グループ2

読取モード設定

. F005\$



CONTINUOUS MODE

- * LEDは常にオン
- * トリガはContinuous Modeでは動作しない。

. F001\$



FLASH MODE

- * バーコードがスキャナに近接している場合、LEDは恒常的にオンだが、バーコードが60秒間検知されない場合、点滅を開始する。
- * Flash Modeでは、トリガは動作しない。

. F002\$



TRIGGER MODE

- * LEDは、トリガが押されると点灯
- * LEDは、トリガをリリースすると消灯

. F006\$



CONTINUOUS AUTO OFF

- * LEDは、トリガが押されると常時点灯
- * LEDは、バーコードが60秒間検知されないと消灯

. F003\$



TOGGLE MODE

- * 本機能は、Trigger Modeと同機能だが、スキャナがビープ音を鳴らして正常読取を知らせる。

. F007\$



*AUTO SENSING MODE(CCD)

- * Auto-Sensing Mode(CCD)がオンの場合、Deactivation Time経過後バーコードが検知されないとLEDは消灯する（デフォルトは3秒）。
- * LEDは、バーコードを検知すると自動的に点灯
- * Auto-Sensing Mode(CCD)がオンの場合、Magnetic SwitchとBlue LEDが同時に有効になる。

. F010\$



*AUTO SENSING MODE(Laser)

- * Auto-Sensing Mode(Laser)がオンの場合、Deactivation Time経過後バーコードが検知されないとLEDは消灯する（デフォルトは3秒）。
- * オブジェクトを検知すると、自動的にレーザー光を発振
- * Auto-Sensing Mode(Laser)がオンの場合、Magnetic Switchが有効

注記：

1. スキャナの寿命を延ばすには、スキャナを、Trigger Mode、Continuous Auto Off Modeで稼働してください。
2. LEDインジケータは、正常読取で点灯します。
3. Auto-Sensing Modeの詳細な設定（Deactivation Time、Magnetic Switch、Blue LED）については、以降のページを参照してください。

APPENDIX

ワイヤレススキャナの設定

POWER OFF TIMEOUT

バッテリー電源節約の為の、自動電源オフのタイムアウト

・B017\$



1 MIN

・B018\$



3 MIN

・B019\$



5 MIN

・B020\$



10 MIN

・B021\$



DIABLE
(NO POWER-OFF)

LEDとビープ音告知

Scanner	Status	Blue/Green LED	Red LED	Beeper	Remark
	Initializing	Flash	Flash	1 long beep	
	Successful Connection			2 beeps	
	Barcode Scan w/o Connection	Flash		3 beeps	
	Successful Barcode Scan	1 Flash		1 beep	
	Low Power		Flash	5 beeps	
	Unsuccessful Pincode Setup			3 short beeps	Scan Pincode Stop and retry
	Power Off or Standby				See Power Off Timeout
Cradle	Status	Blue LED	Red LED	Green LED	Remark
	Successful Connection	On			
	Charging		On	Flash	Power adaptor needed
	Full Charge		On	On	4 hours to fully charge

APPENDIX

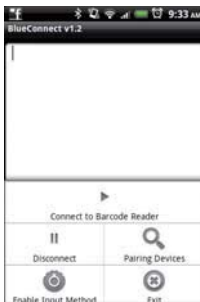
ワイヤレススキャナ設定

SMARTPHONE CONNECTION

Android

1. [BT mode —SPP]で、スキャナと並べます。
2. Bluetooth Connect.apkをインストールし、プログラムを入力
3. Language & Keyboard 設定ウィンドウで [BluetoothConnect]をイネーブルにし、入力方法として [[BluetoothConnect]を選択
4. [Connect]を選択すると、スキャナに接続できます

* Bluetooth接続に関する詳細は、営業担当にお問い合わせください。



iOS (Apple)

[BT mode—PP]で、スキャナと並べます

*iPhone/iPad Touch Keyboardを切り替えるには、次のバーコードをスキャンします



CONNECTION OPTIONS

・E042\$



BT mode - SPP

1. トリガを1秒間押し下げて、スキャナをアクティベート
2. [DISCONNECT]をスキャン
3. [BT mode —SPP]をスキャン：スキャナは10回ピープ音が鳴ります。
4. 検出されたデバイスのリストから “Wireless Scanner” を選択。デフォルトのピンコードは、“1234”
5. comポートのシリアル通信ソフトウェアを起動して、適切にセットアップします（デバイスマネージャを参照）
6. スキャナは、接続を確認するとピープ音が2回なります

・E043\$



BT mode - HID

1. トリガを1秒間押し下げて、スキャナをアクティベート
2. [DISCONNECT]をスキャン
3. [BT mode —SPP]をスキャン：スキャナは11回ピープ音が鳴ります
4. 検出されたデバイスのリストから “Wireless Scanner” を選択
5. Bluetoothアプリケーションで、ピンコードのスキャンを求められます（次ページ、ピンコードセットアップのセクションを参照）
6. スキャナは、接続を確認するとピープ音が2回なります

・E031\$



Disconnect

APPENDIX

ワイヤレススキャナ設定

PINCODE SETUP

STEP 1

Pincode Start

. E032\$



STEP 2

Bluetoothアプリケーションが生成したピンコードの
数字バーコードをスキャン（下記数字バーコードを参照）

NUMERIC BARCODES



1

6



2

7



3

8



4

9



5

0



STEP 3

Enter

\$TX



STEP 4

Pincode Stop

. E033\$



グループ3

チェックバージョン、ビーブトーン、ターミネータ

BEEP TONE MODE

2.1KHz

2.7KHz

.F019\$



BEEP HIGH

.F021\$



BEEP HIGH-LOW

.F018\$



BEEP MEDIUM

.F020\$



BEEP LOW-HIGH

.F022\$



BEEP LOW

.F012\$



BEEP OFF

.F014\$



BEEP HIGH

.F016\$



BEEP HIGH-LOW

.F013\$



BEEP MEDIUM

.F015\$



BEEP LOW-HIGH

.F017\$



BEEP LOW

CHECK VERSION

.A007\$



CHECK VERSION

TERMINATOR

.D010\$



NONE

.D011\$



LF

.D012\$



CR

.D013\$



CR+LF

.D014\$



TAB

.D015\$



SPACE

.D016\$



ESC

注記：

1. キーボードウェッジインターフェースのデフォルトのターミネータはCRです。
2. USBインターフェースのデフォルトのターミネータはCRです。
3. RS-232CインターフェースのデフォルトのターミネータはCR + LFです。

グループ4

設定コード読取、プリアンブル&ポストアンブル

SEND DATA LENGTH

.D019\$



SEND DATA LENGTH ON

.D020\$



SEND DATA LENGTH OFF

PREAMBLE & POSTAMBLE (PREFIX AND SUFFIX)

.A011\$



CLEAR PRE/ POSTAMBLE

.A012\$



PREAMBLE (16)

.A013\$



POSTAMBLE (16)

例：

PREAMBLE文字列を“##”に設定、
POSTAMBLE文字列を“\$\$”に設定

設定手順：

- ステップ1：CLEAR PRE/ POSTAMBLEをスキャン
- ステップ2：PREAMBLEをスキャン
- ステップ3：FULL ASCII表で、“#”を2回スキャン
- ステップ4：PREAMBLEをスキャン
- ステップ5：POSTAMBLEをスキャン
- ステップ6：FULL ASCII表で、“\$”を2回スキャン
- ステップ7：POSTAMBLEをスキャン

フォーマット：

{Preamble}{Code ID}{Bar Code}{Postamble}

注記：

- 1. プリアンブルは、最長16文字の文字列で、スキャンしたバーコードの先端に追加されます。
- 2. ポストアンブルは、最長16文字の文字列で、スキャンしたバーコードの終端に追加されます。
- 3. デフォルトの値は、どちらもNoneです。

グループ5

精密性調整



ACCURACY ADJUSTMENT



精密性調整は、デコード出力の信頼性を高めます。本機能をイネーブルにし、1から9の数字を設定すると、デコード出力をより精密にすることができます。数字が大きいほうが、より精密となります。

設定手順：

1. ACCURACY ADJUSTMENTをスキャン
2. 上記のバーコードメニューから1桁（1-9）をスキャン
3. ACCURACY ADJUSTMENTをスキャン

RESET



注記：

1. 設定が完了していない場合、スキャナはピープ音を3回鳴らして警告します。
2. 間違ってスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESETをスキャンして再開してください。

グループ6

ラベルタイプ ポジティブ/ネガティブ、コードIDのイネーブルとディセーブル

LABEL TYPE POSITIVE / NEGATIVE

.D021\$



DISABLE NEGATIVE LABEL
(POSITIVE LABEL ENABLE)

.D022\$



ENABLE NEGATIVE LABEL
(POSITIVE & NEGATIVE ENABLE)

ENABLE CODE ID

.A008\$



FACTORY ID ON

.A014\$



AIM ID ON

.A015\$



SET ID ON

DISABLE CODE ID

.A009\$



注記：

1. 1個のコードIDだけが送信されます。
2. コードIDは、バーコードデータの前とプリアンプルの後に位置します。

例：

1. Preamble 145287
2. Code ID: enable AIM ID
3. バーコードシンボロジー：EAN 13+5

145287

Preamble
145287

]E0

CODE ID
AIM ID :]E0

4



563987123453



12411

BARCODE / DATA
EAN 13 +5

OUTPUT : 145287]E0456398712345312411

グループ7

シンボロジーコードID識別子、セットID

SYBBOLOGIES CODE ID IDENTIFIER					
Symbologies	Factory ID	AIM ID (new)	Symbologies	Factory ID	AIM ID (new)
EAN 128	T	JC1	MSI	O	JM0
Code 128	K	JC0	MSI(MOD 10 / CDV & not send CD)		JM1
EAN8(+2/+5 OFF)	S	JE4	Code 32	B	JX0
EAN8(+2 ON)		JE4	Codabar	N	JF0
EAN8(+5 ON)		JE4	Codabar(ABC Codabar)		JF1
UPC-E(+2/+5 OFF)	E	JE0	Codabar(CDV & Send CD)		JF2
UPC-E(+2 ON)		JE3	Codabar(CDV & not send CD)	P	JF4
UPC-E(+5 ON)		JE3	UK Plessey		JP0
UPC-A(+2/+5 OFF)	A	JE0	Matrix 2 of 5	Y	JX0
UPC-A(+2 ON)		JE3	Full ASCII Code 39(disable CDV)	D	JA4
UPC-A(+5 ON)		JE3	Full ASCII Code 39(CDV & send CD)		JA5
EAN-13(+2/+5 OFF)	F	JE0	Full ASCII Code 39(CDV & not send CD)		JA7
EAN-13(+2 ON)		JE3	Standard Code 39(disable CDV)	M	JA0
EAN-13(+5 ON)		JE3	Standard Code 39(CDV & send CD)		JA1
Code 93	L	JG0	Standard Code 39(CDV & not send CD)		JA3
Code 11(disable CDV)	J	JH0	IATA 2 of 5	R	JR0
Code 11(send one CD)		JH0	Industrial 2 of 5	V	JS0
Code 11(send two CD)		JH1	China Post Code	H	JX0
Code 11(not send CD)		JH3	Interleaved 2 of 5(CDV & send CD)	I	J11
Telepen(ASCII)	U	JB0	Interleaved 2 of 5(CDV & not send CD)		J13
Telepen(Numeric)		JB1	Interleaved 2 of 5(disable CDV)		J10

セットID – 設定手順

設定手順：

1. 特定のシンボロジーのSET IDバーコードをスキャン
2. フルASCII表で、1個か2個の英数字をスキャン
3. SET IDバーコードを再度スキャン

例：MSI Code ID = A, Code 93 = G9を定義

MSI：

ステップ1：MSI Set ID（グループ9）をスキャン

ステップ2：（グループ37）から“A”をスキャン

ステップ3：MSI Set ID（グループ9）をスキャン

Code 93：

ステップ1：Code 93 Set ID（グループ8）をスキャン

ステップ2：（グループ37）から“G”、（グループ41）から“9”をスキャン

ステップ3：Code 93 Set ID（グループ8）を再度スキャン

注記：

1. コードIDの長さは1個か2個のキャラクタです。1個のキャラクタを設定すると、コードID出力は1個のキャラクタになります。2個のキャラクタを設定すると、コードID出力は2個のキャラクタになります。
2. 1タイプのコードIDのみが送信されます。

グループ8

コードID設定：セットID

. P001\$



EAN 13 Set ID

. P002\$



EAN 8 Set ID

. P003\$



UPC E Set ID

. P004\$



UPC A Set ID

. P005\$



Code 39 Set ID

. P013\$



Code 93 Set ID

. P007\$



Codabar Set ID

. P021\$



IATA Set ID

. P010\$



Code 128 Set ID

. P016\$



EAN 128 Set ID

. P022\$



Telepen Set ID

. P009\$



Code 11 Set ID

. P011\$



Code 32 Set ID

. P012\$



China Post Code
(TOSHIBA Code) Set ID

グループ9

コードID設定：セットID

MSI Code Set ID

. P014\$



UK Plessey Set ID

. P015\$



Matrix 2 of 5 Set ID

. P017\$



Interleaved 2 of 5
Set ID

. P006\$



Industrial 2 of 5 Set ID

. P018\$



Full ASCII Code39
Set ID

. P008\$



GS1 Databar (RSS)
Limited Set ID

. P019\$



GS1 Databar (RSS)
Expanded Set ID

. P020\$



GS1 Databar (RSS)
Set ID

. P024\$



LABEL Code Set ID
(Reserved)

. P020\$



RESET

. P023\$



1. 設定が完了していない場合、スキャナはピープ音を3回鳴らして警告します。
2. 間違ってスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESETをスキャンして再開してください。

グループ10

ブロックとキャラクタ間のディレイ

INTERBLOCK DELAY

. B001\$ 	0mS
. B002\$ 	10mS
. B003\$ 	50mS
. B004\$ 	100mS
. B005\$ 	200mS
. B006\$ 	500mS

INTERCHARACTER DELAY

. B010\$ 	140uS
. B011\$ 	500uS
. B012\$ 	1mS
. B013\$ 	4mS
. B014\$ 	16mS

グループ11

キーボードレイアウト/CAPLOCKモード/数字キー

KEYBOARD LAYOUT

. C010\$



ENGLISH (USA)

. C018\$



ENGLISH (UK)

. C011\$



GERMAN

. C012\$



FRENCH

. C009\$



JAPAN (106 key only)

. C013\$



SPANISH

. C014\$



ITALIAN

. C015\$



UNIVERSAL CODE

. C016\$



SWISS

. C017\$



CZECH (QWERTY)

CAPITAL LOCK MODE

. A004\$



CAPLOCK ON

. A005\$



CAPLOCK OFF

. A006\$



CAPLOCK FREE

注記：

1. バーコードスキャナをCaplockフリーモードに設定すると、Caplock LEDインジケータのオン/オフにかかわらず、出力は元のバーコードと常に同じになります。すなわち、表示されているものが出力されます（CODABARは例外）。
2. 例えば、ABCD/ ABCD, abcd/ abcd, ABCD/T*E, abcd/tn*eが表示されていると、個別の表示通りに機能することになります。

NUMERIC KEY

. D017\$



NUMERIC KEY

. D018\$



ALPHANUMERIC KEY

グループ12

RS232: ボーレート、データビット、パリティ

BAUD RATE

. E001\$



300

. E002\$



600

. E003\$



1200

. E004\$



2400

. E005\$



4800

. E006\$



9600

. E007\$



19200

. E022\$



38400

DATA BITS & PARITY

. E008\$



8 Bits None

. E009\$



8 Bits EVEN

. E010\$



8 Bits ODD

. E011\$



8 Bits MARK

. E012\$



8 Bits SPACE

. E013\$



7 Bits EVEN

. E014\$



7 Bits ODD

. E015\$



7 Bits MARK

. E021\$



7 Bits SPACE

グループ13

RS232: ストップビット、ハンドシェーキング、ACK/NAK、フローコントロール、BCC

STOP BITS

. E016\$



1 STOP BIT

. E017\$



2 STOP BITS

HANDSHAKING

. E018\$



NONE

. E019\$



RTS enable at Power on

. E020\$



RTS enable with Communication

ACK / NAK

. E023\$



ON

. E024\$



OFF

FLOW CONTROL: TIME OUT

. E025\$



1 Sec

. E026\$



3 Sec

. E027\$



10 Sec

. E028\$



Unlimited

BCC

. E029\$



RS232 BCC Char On

. E030\$



RS232 BCC Char Off

グループ14

ワンドエミュレーションパラメータ設定



**LEVEL DURATION OF
MINI WIDTH**



**POLARITY OF
IDLE CONDITION**



**OUTPUT OF WAND
EMULATION**



WAVE FORM



グループ15

シンボロジーのイネーブル/ディセーブル

ENABLE

. A002\$



ENABLE ALL CODE

. K010\$



CODE 32

. K001\$



CHINA POSTAL CODE

. L010\$



UK PLESSEY CODE

. N001\$



INDUSTRIAL 2 OF 5

. M010\$



MATRIX 2 OF 5

. J001\$



INTERLEAVED 2 OF 5

. J010\$



CODE 128

. I001\$



CODABAR

. L014\$



TELEPEN

DISABLE

. A003\$



DISABLE ALL CODE

. K011\$



CODE 32

. K002\$



CHINA POSTAL CODE

. L011\$



UK PLESSEY CODE

. N002\$



INDUSTRIAL 2 OF 5

. M011\$



MATRIX 2 OF 5

. J002\$



INTERLEAVED 2 OF 5

. J011\$



CODE 128

. I002\$



CODABAR

. L015\$



TELEPEN

グループ16

シンボロジーのイネーブル/ディセーブル

ENABLE



UPC-A



UPC-E



EAN-8



EAN-13



MSI



CODE 39



CODE 11



CODE 93



EAN-128



IATA

DISABLE



UPC-A



UPC-E



EAN-8



EAN-13



MSI



CODE 39



CODE 11



CODE 93



EAN-128



IATA

グループ17

シンボロジーのイネーブル/ディセーブル、CHINA POSTAL CODE

ENABLE

. N032\$



GS1 Databar ENABLE

. N038\$



GS1 Databar STACKED ENABLE

. N010\$



GS1 Databar LIMITED ENABLE

. N026\$



GS1 Databar EXPANDED ENABLE

. N028\$



GS1 Databar EXPANDED STACKED ENABLE

. G021\$



PDF 417 ENABLE

DISABLE

. N033\$



GS1 Databar DISABLE

. N039\$



GS1 Databar STACKED DISABLE

. N011\$



GS1 Databar LIMITED DISABLE

. N027\$



GS1 Databar EXPANDED DISABLE

. N029\$



GS1 Databar EXPANDED STACKED DISABLE

. G022\$



PDF417 DISABLE

CHINA POSTAL CODE

[TOSHIBA CODE]

. K001\$



ENABLE

. K002\$



DISABLE

. K003\$



DISABLE CDV

. K004\$



CDV & SEND CD

. K005\$



CDV & NOT SEND CD

. K006\$



MIN LENGTH (11)

. K007\$



MAX LENGTH (48)

APPENDIX

フルASCII (Code 39) 数字表

0		1	
2		3	
4		5	
6		7	
8		9	

設定手順

MIN / MAX LENGTH

- ステップ1：MIN LENGTH/ MAX LENGTHをスキャン
ステップ2：APPENDIXから2桁をスキャン
ステップ3：MIN LENGTH/ MAX LENGTHをスキャン

Min LengthとMax Lengthがイネーブルになっている場合、スキャナは指定の長さパラメータに合ったバーコードのみ読み取ることにご注意してください。指定の長さより短い場合、バーコードは読み取られません。デフォルト長さは、各シンボロジーのMin/Maxバーコードの下にカッコで記載されています。

注記：

1. 設定が完了していない場合、スキャナはピープ音を3回鳴らして警告します。
2. 間違っスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESETをスキャンすると、手順を最初から再開できます。

RESET ➡



グループ18

シンボロジー：MSI CODE, UK PLESSEY CODE

. L001\$



ENABLE

. L002\$



DISABLE

. L004\$



CDV & SEND CD

. L003\$



CDV & NOT SEND CD

. L007\$



CHECK DIGIT DOUBLE
MOD 10

MSI

. L008\$



CHECK DIGIT DOUBLE 11
PLUS MOD 10

. L009\$



**CHECK DIGIT SINGLE
MOD 10**

. L005\$



MIN LENGTH (6)

. L006\$



MAX LENGTH (48)

. L010\$



ENABLE

. L011\$



DISABLE

UK PLESSEY CODE

. L012\$



CDV & SEND CD

. L013\$



CDV & NOT SEND CD

APPENDIX

フルASCII (Code 39) 数字表



設定手順

MIN / MAX LENGTH

ステップ1：MIN LENGTH/ MAX LENGTHをスキャン

ステップ2：APPENDIXで、2桁をスキャン

ステップ3：MIN LENGTH/ MAX LENGTHをスキャン

Min LengthとMax Lengthがイネーブルになっている場合、スキャナは指定の長さパラメータに合ったバーコードのみ読み取ることに注意してください。指定の長さより短い長い場合、バーコードは読み取られません。デフォルト長さは、各シンボロジーのMin/Maxバーコードの下にカッコで記載されています。

注記：

1. 設定が完了していない場合、スキャナはピープ音を3回鳴らして警告します。
2. 間違っスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESETをスキャンすると、手順を最初から再開できます。

RESET ➡

・ P023\$



グループ19

シンボロジー：CODE 93, TELEPEN, IATA

. G010\$



ENABLE

. G011\$



DISABLE

CODE 93

. G012\$



MIN LENGTH (6)

. G013\$



MAX LENGTH (48)

. L014\$



ENABLE TELEPEN

. L015\$



DISABLE TELEPEN

TELEPEN

. L020\$



TELEPEN ASCII

. L021\$



TELEPEN NUMBER

. N017\$



ENABLE

. N018\$



DISABLE

. N019\$



DISABLE CDV

. N020\$



CDV & SEND CD

IATA

. N021\$



CDV & NOT SEND CDV

. N022\$



MIN LENGTH (6)

. N023\$



MAX LENGTH (48)

APPENDIX

フルASCII (Code 39) 数字表



設定手順

MIN / MAX LENGTH

ステップ1：MIN LENGTH/ MAX LENGTHをスキャン

ステップ2：APPENDIXで、2桁をスキャン。

ステップ3：MIN LENGTH/ MAX LENGTHをスキャン

Min LengthとMax Lengthがイネーブルになっている場合、スキャナは指定の長さパラメータに合ったバーコードのみ読取ることに注意してください。指定の長さより短い長い場合、バーコードは読み取られません。デフォルトの長さは、各シンボロジーのMin/Maxバーコードの下にカッコで記載されています。

注記：

1. 設定が完了していない場合、スキャナはピープ音を3回鳴らして警告します。
2. 間違っスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESETをスキャンすると、手順を最初から再開できます。

RESET ➡

・ P023\$



グループ20

シンボロジー：INTERLEAVED 2 OF 5, CODE 11

. J 0 0 1 \$



ENABLE

. J 0 0 2 \$



DISABLE

. J 0 0 3 \$



DISABLE CDV

. J 0 0 4 \$



CDV & SEND CD

. J 0 0 5 \$



CDV & NOT SEND CD

INTERLEAVED 2 OF 5

. J 0 0 8 \$



First digit suppressed

. J 0 0 9 \$



Last digit suppressed

. J 0 1 4 \$



NO suppressed

. J 0 0 6 \$



MIN LENGTH (6)

. J 0 0 7 \$



MAX LENGTH (48)

. I 0 1 0 \$



ENABLE

. I 0 1 1 \$



DISABLE

. I 0 1 2 \$



DISABLE CDV

. I 0 1 3 \$



CDV & SEND CD

. I 0 4 2 \$



CDV & SEND CD
(1 DIGIT)

CODE 11

. I 0 4 3 \$



CDV & SEND CD
(2 DIGITS)

. I 0 1 4 \$



CDV & NOT SEND CD

. I 0 1 5 \$



MIN LENGTH (6)

. I 0 1 6 \$



MAX LENGTH (32)

APPENDIX

フルASCII (Code 39) 数字表



設定手順

MIN / MAX LENGTH

- ステップ1：MIN LENGTH/ MAX LENGTHをスキャン
- ステップ2：APPENDIXで、2桁をスキャン
- ステップ3：MIN LENGTH/ MAX LENGTHをスキャン

Min LengthとMax Lengthがイネーブルになっている場合、スキャナは指定の長さパラメータに合ったバーコードのみ読み取ることに注意してください。指定の長さより短いか長い場合、バーコードは読み取られません。デフォルト長さは、各シンボロジーのMin/Maxバーコードの下にカッコで記載されています。

注記：

1. 設定が完了していない場合、スキャナはピープ音を3回鳴らして警告します。
2. 間違っスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESETをスキャンすると、手順を最初から再開できます。

RESET ➡



グループ21

シンボロジー：INDUSTRIAL 2 OF 5, MATRIX 2 OF 5

. N001\$



ENABLE

. N002\$



DISABLE

. N003\$



DISABLE CDV

. N004\$



CDV & SEND CD

INDUSTRIAL 2 OF 5

. N005\$



CDV & NOT SEND CD

. N006\$



MIN LENGTH (6)

. N007\$



MAX LENGTH (48)

. M010\$



ENABLE

. M011\$



DISABLE

. M012\$



DISABLE CDV

. M013\$



CDV & SEND CD

MATRIX 2 OF 5

. M014\$



CDV & NOT SEND CD

. M015\$



MIN LENGTH (6)

. M016\$



MAX LENGTH (48)

APPENDIX

フルASCII (Code 39) 数字表



設定手順

MIN / MAX LENGTH

ステップ1：MIN LENGTH/ MAX LENGTHをスキャン

ステップ2：APPENDIXで、2桁をスキャン

ステップ3：MIN LENGTH/ MAX LENGTHをスキャン

Min LengthとMax Lengthがイネーブルになっている場合、スキャナは指定の長さパラメータに合ったバーコードのみ読み取ることに注意してください。指定の長さより短い長い場合、バーコードは読み取られません。デフォルト長さは、各シンボロジーのMin/Maxバーコードの下にカッコで記載されています。

注記：

1. 設定が完了していない場合、スキャナはピープ音を3回鳴らして警告します。
2. 間違っスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESETをスキャンすると、手順を最初から再開できます。

RESET ➡

・ P023\$



グループ22

シンボロジー：CODABAR



ENABLE



DISABLE



DISABLE CDV



CDV & SEND CD

CODABAR



CDV & NOT SEND CD



MIN LENGTH (6)



MAX LENGTH (48)



ST/SP: abcd/abcd



ST/SP: ABCD/ABCD



ST/SP: ABCD/TN*E



ST/SP: abcd/tn*e

START / STOP



SEND START / STOP



Not Send START / STOP

STの例 (Start) / SP (Stop)

123456	Not Transmit ST/SP
A123456B	ST/SP: ABCD/ABCD
a123456b	ST/SP: abcd/abcd
A123456N	ST/SP: ABCD/TN*E
a123456n	ST/SP: abcd/tn*e



CLSI FORMAT ON



CLSI FORMAT OFF

CLSI FORMAT

CLSIは、ライブラリススペースの挿入を可能にします。CLSI フォーマットをイネーブルにすると、本オプションはライブラリシステムで使用するデータストリングのポジション 2, 7, 13にスペースを挿入します。

APPENDIX

フルASCII (Code 39) 数字表



設定手順

MIN / MAX LENGTH

ステップ1：MIN LENGTH/ MAX LENGTHをスキャン

ステップ2：APPENDIXで、2桁をスキャン

ステップ3：MIN LENGTH/ MAX LENGTHをスキャン

Min LengthとMax Lengthがイネーブルになっている場合、スキャナは指定の長さパラメータに合ったバーコードのみ読み取ることに注意してください。指定の長さより短いか長い場合、バーコードは読み取られません。デフォルト長さは、各シンボロジーのMin/Maxバーコードの下にカッコで記載されています。

注記：

1. 設定が完了していない場合、スキャナはピープ音を3回鳴らして警告します。
2. 間違っスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESETをスキャンすると、手順を最初から再開できます。

RESET ➡

・ P023\$



グループ23

シンボロジー：ABC-CODABAR, CX-CODABAR



ON



OFF



SET INSERT DATA*

ABC- CODABAR



INSERT DATA- ON



INSERT DATA- OFF

*データは、フルASCII表の任意の英数字が可能です。
(グループ33-41) (51-59ページ)

REMARK:

ABC-CODABAR (American Blood Commission)。
ABC Codeは、American Blood Commission (アメリカ血液委員会)
を表します。本バーコードは、CODABAR Codeの一種で、血液銀行用
に作成されました。本コードは、1回の読取サイクルでデコードされる
2つのバーコードで構成されます。最初のバーコードのストップ
キャラクタと2番目のバーコードのスタートキャラクタが" D" の場合、
連結されます。この2つの" D" は、転送されません。



ON



OFF



SET INSERT DATA*

CX CODE- CODABAR



INSERT DATA- ON



INSERT DATA- OFF

*データは、フルASCII表の任意の英数字が可能です。
(グループ33-41) (51-59ページ)

REMARK:

CX-Codeは、1回の読取サイクルでデコードされる2つのバーコード
から構成され、最初のバーコードのストップキャラクタがCで、2番目
のバーコードのスタートキャラクタがBの場合、連結されます。BとC
のキャラクタは、転送されません。

グループ24

シンボロジー：CODABAR COUPLING, ADJACENT REQUIRED



ON



OFF



SET INSERT DATA*

CODABAR COUPLING



INSERT DATA - ON



INSERT DATA - OFF

ABC-CodabarとCX-Codabarは、最初のバーコードのストップキャラクタと2番目のバーコードのストップキャラクタの連結時に一定のルールがあります。Codabar-Couplingがイネーブルにされている場合、任意の2つのCodabarバーコードは、最初のバーコードストップキャラクタと2番目のバーコードのスタートキャラクタに特に制限無く、1個のデータセットにすることができます。各バーコードのスタートとストップのキャラクタも送信されます。

* データは、フルASCII表の任意の英数字が可能です。

(グループ33-44) (51-62ページ)

ADJACENT REQUIRED

CODABAR ADJACENTがイネーブルにされている場合、スキャナは2つの隣接するCodabarのみ読み取ります。単独のバーコードは読み取れません。



ON



OFF

注記：

1. ABC-CodabarとCX-Codabarは、Codabar-Couplingがイネーブルにされている場合以外、両方同時にのみイネーブルにできます。
 2. ABC-Codabar、CX-Codabar、Codabar-Couplingがすべて同時にイネーブルにされている場合、スキャナはCodabar-Couplingのみ読み取ります。
- ABC-CodabarとCX-Codabarは、カップリングフォーマットと見なされます。

設定手順 - 挿入データの設定

ステップ1 - SET INSERT DATAをスキャン

ステップ2 - フルASCII表で、任意の英数字キャラクタの組合せをスキャン

ステップ3 - SET INSERT DATAをスキャン

RESET



注記：

1. 設定が完了していない場合、スキャナはピープ音を3回鳴らして警告します。
2. 間違ってスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESETをスキャンすると、手順を最初から再開できます。

グループ25

シンボロジー：STANDARD & FULL ASCII CODE 39, CODE 32

STANDARD CODE 39 & FULL ASCII 39



注記：

Code 39のデフォルトは、Standard Code 39です。Full ASCII Code 39がイネーブルにされている場合、Standard Code 39は自動的にディセーブルになります。

CODE 32



APPENDIX

フルASCII (Code 39) 数字表



設定手順

MIN / MAX LENGTH

- ステップ1：MIN LENGTH/ MAX LENGTHをスキャン
- ステップ2：APPENDIXで、2桁をスキャン
- ステップ3：MIN LENGTH/ MAX LENGTHをスキャン

Min LengthとMax Lengthがイネーブルになっている場合、スキャナは指定の長さパラメータに合ったバーコードのみ読み取ることに注意してください。指定の長さより短いか長い場合、バーコードは読み取られません。デフォルト長さは、各シンボロジーのMin/Maxバーコードの下にカッコで記載されています。

注記：

1. 設定が完了していない場合、スキャナはピープ音を3回鳴らして警告します。
2. 間違っスキャンしたり、手順を忘れた場合、RESETをスキャンすると、手順を最初から再開できます。

RESET ➡



グループ26

シンボロジーフォーマット：UPC-E

UPC-E

. H007\$



ENABLE

. H008\$



DISABLE

. H009\$



LEAD DIGIT SEND

. H010\$



LEAD DIGIT NO SEND

. H011\$



CHECK DIGIT SEND

. H012\$



CHECK DIGIT NO SEND

. H037\$



+5 ON

. H038\$



+ 5 OFF

. H039\$



+2 ON

. H040\$



+ 2 OFF

ADD ON SUPPLEMENT

. H047\$



ADD A SPACE ON

. H048\$



ADD A SPACE OFF

. H056\$



ADDENDA REQUIRED ON

. H055\$



ADDENDA REQUIRED OFF

注記：

ADDENDA REQUIREDをオンに設定した場合、スキャナはアデンダの付いたUPC-Eバーコードのみを読み取ります。+5 ONまたは+2 ONも同時にスキャンすると、5または2桁のアデンダを出力します。

グループ27

シンボロジー：UPC-E SYSTEM NUMBER

UPC-E0

. H064\$



E (0) OFF

. H063\$



E (0) ON

UPC-E1

. H065\$



E (1) ON

. H066\$



E (1) OFF

注記：

UPCバーコードは通常、0ナンバースystemで始まります。これらのバーコードの場合、UPC E(0)選択を使用してください。1ナンバーで始まるバーコードの場合は、UPC E(1)選択を使用してください。

UPC-E EXPAND TO UPC-A

. H053\$



ENABLE

. H054\$



DISABLE

NOTE:

1. UPC-E EXPAND TO UPC A FORMATがイネーブルの場合、UPC -Aの出力は12桁です。.
2. UPC -Aのデフォルトの出力は12桁ですが、UPC -A EXPAND TO EAN13がイネーブルの場合、バーコードの先頭に0が追加されます。

グループ28

シンボロジーフォーマット：UPC-A

. H001\$



ENABLE

. H002\$



DISABLE

. H003\$



LEAD DIGIT SEND

UPC-A

. H004\$



LEAD DIGIT NO SEND

. H005\$



CHECK DIGIT SEND

. H006\$



CHECK DIGIT NO SEND

**UPC-A EXPAND
TO EAN-13**

. H068\$



ENABLE

. H067\$



DISABLE

. H033\$



+5 ON

. H034\$



+ 5 OFF

. H035\$



+2 ON

. H036\$



+ 2 OFF

ADD ON SUPPLEMENT

. H045\$



ADD A SPACE ON

. H046\$



ADD A SPACE OFF

. H060\$



ADDENDA REQUIRED ON

. H059\$



ADDENDA REQUIRED OFF

注記：

ADDENDA REQUIREDをオンに設定した場合、スキャナはアデンダの付いたUPC-Eバーコードのみを読み取ります。
+5 ONまたは+2 ONも同時にスキャンすると、5または2桁のアデンダを出力します。

グループ29

シンボロジーフォーマット：EAN 8

EAN-8

. H019\$



ENABLE

. H020\$



DISABLE

. H021\$



LEAD DIGIT SEND

. H022\$



LEAD DIGIT NO SEND

. H023\$



CHECK DIGIT SEND

. H024\$



CHECK DIGIT NO SEND

ADD ON SUPPLEMENT

. H029\$



+ 5 ON

. H030\$



+ 5 OFF

. H031\$



+ 2 ON

. H032\$



+ 2 OFF

. H043\$



ADD A SPACE ON

. H044\$



ADD A SPACE OFF

. H062\$



ADDENDA REQUIRED ON

. H061\$



ADDENDA REQUIRED OFF

NOTE:

ADDENDA REQUIREDをオンに設定した場合、スキャナはアデンダの付いたUPC-Eバーコードのみを読み取ります。+5 ONまたは+2 ONも同時にスキャンすると、5または2桁のアデンダを出力します。

グループ30

シンボロジーフォーマット：EAN13, ISBN, ISSN, ISMN

. H013\$



ENABLE

. H014\$



DISABLE

. H015\$



LEAD DIGIT SEND

EAN-13

. H016\$



LEAD DIGIT NO SEND

. H017\$



CHECK DIGIT SEND

. H018\$



CHECK DIGIT NO SEND

. H025\$



+ 5 ON

. H026\$



+ 5 OFF

. H027\$



+ 2 ON

. H028\$



+ 2 OFF

ADD ON SUPPLEMENT

. H041\$



ADD A SPACE ON

. H042\$



ADD A SPACE OFF

. H058\$



ADDENDA REQUIRED ON

. H057\$



ADDENDA REQUIRED OFF

. H050\$



ISBN OFF

注記：

1. ADDENDA REQUIREDをオンに設定した場合、スキャナはアデンダの付いたEAN-13バーコードのみを読み取ります。
2. ISSNやISBNは、EAN-13の拡張と見なされます。ISSNとISBNを読み取る必要がある場合は、EAN-13をイネーブルにします。ISSNとISBNをアデンダを付けて読み取る必要がある場合は、EAN-13をADDENDA REQUIREDをオンにしてイネーブルにする必要があります。+2 ON または+5 ONも同様にイネーブルにします。

ISBN

. H049\$



ISBN ON

. H052\$



ISSN OFF

注記：

ISSN

. H051\$



ISSN ON

ISSNやISBNは、EAN-13の拡張コードと見なされます。ISSNやISBNを読み取る必要がある場合は、EAN-13をイネーブルにしないと読み取ることができません。

. H070\$



ISMN OFF

ISMN

. H069\$



ISMN ON

グループ31

シンボロジー：EAN/UCC-128, CODE 128

. M001\$



ENABLE

. M002\$



DISABLE

. M003\$



CODE ID ENABLE

. M004\$



CODE ID DISABLE

EAN/ UCC-128

. M005\$



FUNC 1 CHAR SEND

. M006\$



FUNC 1 CHAR NOT SEND

. M007\$



DEFINE EAN 128

注記：DEFINE EAN 128

最初のFNC1 キャラクタは、]c1にトランスレートされ、2番目のFNC1 キャラクタはASCII <GS> キャラクタにトランスレートされます。（グループ41からスキャン、59ページ）

String format:

]C1	DATA CHARACTERS	<GS>	DATA CHARACTERS
-----	-----------------	------	-----------------

設定手順

- 1: DEFINE EAN128をスキャン
- 2: ASCIIコードをスキャン（59ページ）
- 3: DEFINE EAN128スキャン

CODE 128

. J010\$



ENABLE

. J011\$



DISABLE

. J012\$



MIN LENGTH (5)

. J013\$



MAX LENGTH (48)

PDF417

. G021\$



ENABLE

. G022\$



DISABLE

グループ32

GS1 DataBar, LIMITED, EXPANDED

GS1 DataBar (RSS) - OMNI & STACKED

. N032\$



GS1 DataBar ENABLE

. N034\$



GS1 DataBar CHECK DIGIT SEND

. N036\$



GS1 DataBar PREFIX SEND

. N038\$



GS1 DataBar STACKED ENABLE

. P024\$



GS1 DataBar SET ID

. N033\$



GS1 DataBar DISABLE

. N035\$



GS1 DataBar CHECK DIGIT NOT SEND

. N037\$



GS1 DataBar PREFIX NOT SEND

. N039\$



GS1 DataBar STACKED DISABLE

. N010\$



GS1 DataBar LIMITED ENABLE

. N012\$



GS1 DataBar LIMITED CHECK DIGIT SEND

. N024\$



GS1 DataBar LIMITED PREFIX SEND

. P019\$



GS1 DataBar LIMITED SET ID

GS1 DataBar (RSS) - LIMITED

. N011\$



GS1 DataBar LIMITED DISABLE

. N013\$



GS1 DataBar LIMITED CHECK DIGIT NOT SEND

. N025\$



GS1 DataBar LIMITED PREFIX NOT SEND

. N026\$



GS1 DataBar EXPANDED ENABLE

. N028\$



GS1 DataBar EXPANDED STACKED ENABLE

. N030\$



GS1 DataBar EXPANDED MIN LENGTH

. P020\$



GS1 DataBar EXPANDED SET ID

GS1 DataBar (RSS) - EXPANDED

. N027\$



GS1 DataBar EXPANDED DISABLE

. N029\$



GS1 DataBar EXPANDED STACKED DISABLE

. N031\$



GS1 DataBar EXPANDED MAX LENGTH

グループ33

フルASCII表 (CODE 39)
コントロールコード

%LI		NUL
\$A		SOH
\$B		STX
\$C		ETX
\$D		EOT
\$E		ENQ
\$F		ACK
\$G		BEL
\$H		BS
\$I		HT
\$J		LF
\$K		VT
\$L		FF
\$M		CR
\$N		SO
\$O		SI

グループ34

フルASCII表 (CODE 39)
コントロールコード

DLE	\$P 
DC1	\$Q 
DC2	\$R 
DC3	\$S 
DC4	\$T 
NAK	\$U 
SYN	\$V 
ETB	\$W 
CAN	\$X 
EM	\$Y 
SUB	\$Z 
ESC	%A 
FS	%B 
GS	%C 
RS	%D 
US	%E 
SP	

グループ35

フルASCII表 (CODE 39)
シンボル

+		+
-		-
.		.
\$		\$
%		%
/		/
%L		\
/ A		!
%V		@
/ C		#
%N		^
%S		~
/ F		&
/ J		*
%□		-
%H		=
%Q		

グループ36

フルASCII表 (CODE 39)
シンボル

{	%P 
}	%R 
[	%K 
]	%M 
(	/ H 
)	/ I 
<	%G 
>	%I 
,	%W 
"	/ B 
'	/ G 
,	/ L 
;	%F 
:	/ Z 
?	%J 
DEL	%T 

グループ37

フルASCII表 (CODE 39)
大文字アルファベット



A



B



C



D



E



F



G



H



I



J



K



L



M

グループ38

フルASCII表 (CODE 39)
大文字アルファベット

N	
O	
P	
Q	
R	
S	
T	
U	
V	
W	
X	
Y	
Z	

グループ39

フルASCII表 (CODE 39)
小文字アルファベット

+A



a

+B



b

+C



c

+D



d

+E



e

+F



f

+G



g

+H



h

+I



i

+J



j

+K



k

+L



l

+M



m

グループ40

フルASCII表 (CODE 39)
小文字アルファベット

n 

o 

p 

q 

r 

s 

t 

u 

v 

w 

x 

y 

z 

グループ41

フルASCII表 (CODE 39)
数字



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9

グループ42

フルASCII表 (CODE 39)
ファンクションキー

F1	\$TA 
F2	\$TB 
F3	\$TC 
F4	\$TD 
F5	\$TE 
F6	\$TF 
F7	\$TG 
F8	\$TH 
F9	\$TI 
F10	\$TJ 
F11	\$TK 
F12	\$TL 
Home	\$TM 
End	\$TN 
Enter (Numeric Key)	\$T+D 
App	\$T+□ 

グループ43

フルASCII表 (CODE 39)
ナビゲーションキー

\$T O



Cursor Right

\$T P



Cursor Left

\$T Q



Cursor Up

\$T R



Cursor Down

\$T S



Page Up

\$T T



Page Down

\$T U



Tab

\$T V



Back Tab

\$T W



Esc

\$T X



Enter

\$T Y



BS

\$T Z



Ins

\$T % K



Del

グループ44

フルASCII表 (CODE 39)
修飾キー

\$T%L



Alt (Left) make*1

\$T+E



Alt (Right) make

\$T%N



Shift (Left) make *2

\$T+I



Shift (Right) make

\$T+K



Win (Left) make

\$T+M



Win (Right) make

\$T%W



Ctrl (Left) make *3

\$T+G



Ctrl (Right) make

\$T%M



Alt (Left) break

\$T+F



Alt (Right) break

\$T%口



Shift (Left) break

\$T+J



Shift (Right) break

\$T+L



Win (Left) break

\$T+N



Win (Right) break

\$T+A



Ctrl (Left) break

\$T+H



Ctrl (Right) break

UKキーボード特殊キャラクタ

\$T+B



\$T+C



£

注記：

┐

*1: "Alt(Left)Make" がプログラムされている場合、"Alt(Left)Break" をスキャンしてバーコード設定を再開してください。

*2: "Shift(Left)Make" がプログラムされている場合、"Shift(Left)Break" をスキャンしてバーコード設定を再開してください。

*3: "Ctrl(Left)Make" がプログラムされている場合、"Ctrl(Left)Break" をスキャンしてバーコード設定を再開してください。



グループ45

トラブルシューティング

Our Barcode Scanners are simple to install and use.
Most operational issues can be attributed to:



インターフェース接続の誤り
初期設定の誤り
低品質なバーコード

一般的解決手順

1. 最初に、スキャナとホストコンピュータの接続を確認します。
正しい場合、長いビープ音をが1回鳴ります。トリガを押し下げると、LEDが点滅します。
2. 電源をオン後、本書のサンプルバーコードをスキャンします。
デフォルト設定では、ビープ音が鳴り、LEDが点滅して正常読取を知らせます。読取が正常にできない場合、スキャンのやり方か、インターフェース設定に問題がある可能性があります。スキャナをデフォルトにリセットしてください。
3. 正常読取が告知されたにもかかわらずモニタにデータ出力が無い場合、ケーブルの接続を確認してください。

キーボードインターフェース の問題

キーボードウェッジインターフェースは、通常問題は起きませんが、問題が起きた場合、下記を確認してください：

正しいケーブルを使用しているか？

コンピュータは通常、XT/AT互換キーボードを使用しています。
正しいケーブルを使用しているか確認してください。

キーボードは動作しているか？

キーボードからキーインされたデータがデコーダに渡されているため、キーボードが機能していれば、ケーブル接続は正しいです。

お使いのコンピュータは、高速なデータ受信が可能か？

コンピュータのBIOSに、キーボードのタイピング速度に影響する機能があります。インタキャラクタディレイ機能を、キーストローク入力速度を速めるよう設定してみてください。

キーボードポートは十分な電力を供給しているか？

ノートブックコンピュータは通常、スキャナに十分な電力を供給しません。電力供給が不十分の場合、正常読取の確率が下がります。
(適切なスキャン操作を可能にする電力が十分でないためです)



グループ46

トラブルシューティング

RS232Cインターフェースの問題

バーコードを読取ったのにモニタに出力されない場合、以下の状況の可能性あります。

1. スキャナの、ボーレートやデータビット、パリティ、ハンドシェーキングなどのRS232Cのプロトコルを、PCターミナルの設定にあわせましたか？
解決法：スキャナの上記RS232Cプロトコルを、PCのプロトコルにあわせてリセットする
2. バーコードのケーブルピンアウトアサインメントが、PCターミナルのピンアウトアサインメントに合致していますか？

スキャナに電力が供給されていない：

1. スキャナに適切な電源アダプタを接続していますか？
2. スキャナは、PCターミナルに合致した適切なピンアウトのケーブルで接続していますか？

インターフェースの問題

Code 39出力のワンドエミュレーションを使用していますか？

その場合、デコーダは、Code 39のデータを受け付けるよう設定されていますか。スキャナの設定が、読取るバーコードシンボロジーを受け付けることができるかどうか確認してください。

ケーブルが正しく接続されているように見えるのに、スキャナがデータをホストコンピュータに送信しませんか？

スキャナのインターフェースケーブルには、業界標準はありません。そのため、外観が似ていて同じようなコネクタがあっても、異なる種類の可能性があります。例えば、キーボードウェッジとワンドエミュレーションのケーブルは似ていますが、ピンアサインメントが異なるため、互換性はありません。
ご使用のケーブルが、適切なコネクタに正しく接続されていることを確認してください。

設定

正しいインターフェースの設定を行っていますか？

正しいインターフェースの設定を行っていますか？キーボードウェッジケーブルを選択して、RS-232Cやワンドエミュレーションを設定していませんか？キーボードケーブルをRS-232Cに変えたのに、スキャナのインターフェースもRS-232Cに設定するのを忘れていませんか？スキャナをデフォルト設定にしてから、ご使用のケーブルと入力にあわせた適切なインターフェースを選択してください。

症状 ----- LEDライトが固定し、トリガを押しても機能しない。

解決 ----- スキャナをデフォルトの状態に戻し、正しいインターフェースを選ぶ。



グループ47

トラブルシューティング

適切なシンボロジーがイネーブルになっていますか？

バーコードシンボロジーは、個別にイネーブルやディセーブルにできます。スキャンするシンボロジーだけをイネーブルにすることをお勧めします。誤って他のシンボロジーを読取ってしまう可能性がなくなります。

選択したバーコードシンボロジーの設定は、読取るバーコードに合致していますか？

各バーコードシンボロジーのスキャンされたデータは、使用しないシンボロジーをスキャンしないよう制限することができます。制限は、各シンボロジーごとに設定できます。

低品質なバーコード

3番目の問題は、スキャナの問題ではなく、バーコードの印刷品質や、スキャン操作の技術の問題です。

バーコードの許容差

バーコードは、許容差がある場合があります。通常、許容差は、バーコードフォントのソフトウェアやプリンタによって生じます。良い評価のされているソフトウェアを使用して、バーコードを生成してください。印刷されたバーコードにゆがみがあると、スキャナが認識できない場合があります。

低品質のバーコードで正常な読取を行うのは、何回も読取らない限り大変困難です。シンボロジーの品質が落ちると、検出不能エラーが増加します。Check Digit Verification(CDV)を使用して、問題のバーコードの品質をチェックしてください。

ラベル（紙、カラー、プリンタ）

バーコードの光源は、通常赤色なので、ラベルの印刷には制限があります。印刷に使用する素材などを選ぶにあたり、カラーのインクや紙などを使用する時は注意してください。ラベルのカラーとインクのカラーの組合せによっては、スキャナが認識できない場合があります。表面が光沢のある材質も、スキャナが読取りにくい場合があります。

さらに、印刷の品質が悪いと、スキャナが読取れない恐れがあります。使用するプリンタのタイプによって、品質が低下します。ドットマトリクスプリンタやインクジェットプリンタは、高品質のバーコードを生成できません。同時に、インク、リボン、トナーがきちんと補給されているかも確認してください。

APPENDIX 1

DEFAULT TABLE 1

GROUP	PARAMETER	DEFAULT
1	Computer Type	PC-AT
	Interface	(dependent on customer order)
	Setup Code	On
2	Reading Mode	Trigger
	Magnetic Switch	On
	Green LED/ Supplement Light (CCD Scanner)	On
	Deactivation Time (CCD & Laser Scanner)	3 Sec
	Same Code Interval (Laser Scanner)	30 Sec
3	Beep Tone Mode 2.1k	Beep Medium
	Beep Tone Mode 2.7k	Beep Medium
	Terminator	CR(KB, USB); CR+LF(RS232)
4	Send Data Length	Off
	Preamble & Postamble	None
5	Accuracy Adjustment	0
6	Label Type Positive/ Negative	Disable
6~9	Enable & Disable Code ID	Off
10	Interblock Delay	0ms
	Intercharacter Delay	140us
11	Keyboard Layout	English(USA)
	Caplock	Off
	Numeric Key	Alphanumeric Key
12	Baud Rate	9600
	Data Bits & Parity	8 Bits None
13	Stop Bits	1 stop bit
	Handshaking	None
	ACK/NAK	Off
	Flow Control Timeout	1 Sec
	BCC	Off
14	Level duration of Mini Width	200us
	Polarity of Idle Condition	High
	Output of Wand Emulation	Bar High/ Space Low
	Wave Form	Full ASCII 39
	Idle Mode	Off
	Pre-Idle Time	1 Min
15~16	Enable and Disable Symbolologies	
	Code 32	Disable
	China Postal Code	Enable
	UK Plessey Code	Disable
	Industrial 2 of 5	Disable
	Matrix 2 of 5	Disable
	Interleaved 2 of 5	Enable
	Code 128	Enable
	Codabar	Enable
	Telepen	Disable
	UPC-A	Enable
	UPC-E	Enable
	EAN-8	Enable
	EAN-13	Enable
	MSI	Disable
	Code 39	Enable
	Code 11	Disable

APPENDIX 1

DEFAULT TABLE 2

GROUP		PARAMETER	DEFAULT
18	1	MSI	
		Enable/Disable	Disable
		Check Digits	CDV & send CD
		Check Digits Mode	Single MOD 10
	2	UK Plessey	
		Enable/Disable	Disable
		Check Digits	CDV & not send CD
19	1	Code 93	
		Enable/Disable	Disable
		Min Length	6 digits
		Max Length	48 digits
	2	Telepen	
		Enable/Disable	Disable
		Telepen ASCII/ Number	Number
	3	IATA	
		Enable/Disable	Disable
		Check Digits	Disable CDV
		Min Length	6 digits
		Max Length	48 digits
20	1	Interleaved 2 of 5	
		Enable/Disable	Enable
		Check Digits	Disable CDV
		First/ last digit suppressed	No suppressed
		Min Length	6 digits
		Max Length	48 digits
	2	Code II	
		Enable/Disable	Disable
		Check Digits	Disable CDV
21	1	Industrial 2 of 5	
		Enable/Disable	Disable
		Check Digits	Disable CDV
		Min Length	6 digits
		Max Length	48 digits
	2	Matrix 2 of 5	
		Enable/Disable	Disable
		Check Digits	Disable CDV
		Min Length	6 digits
		Max Length	48 digits
22		Codabar	
		Enable/Disable	Enable
		Check Digits	Disable CDV
		Min Length	6 digits
		Max Length	48 digits
		ST/SP; Abcd/abcd, abcd/tn*c, ABCD/ABCD,ABCD/TN*C	ABCD/ABCD
		Start(ST)/Stop(SP)	Send
23	1	CLSI Format	On
		ABC-Codabar	
		ON/OFF	Off
	2	Insert Data	Off
		CX-Codabar	
		ON/OFF	Off
24		Insert Data	Off
		Codabar-Coupling	
		ON/OFF	Off
		Adjacent Required	Off
25	1	Code 39	
		Full ASCII 39 Enable/Disable	Enable
		Check Digits	Disable CDV
		Start/Stop	Not Send
		Min Length	1 digit
		Max Length	48 digits
	2	Code 32	
		Enable/Disable	Disable
		Leading	send
		Tailing	send

APPENDIX 1

DEFAULT TABLE 3

GROUP		PARAMETER	DEFAULT
26		UPC-E	
		Enable/Disable	Enable
		Check Digits	Send
		Lead Digits	Send
		Add a space	Off
		Addenda required	Off
		+5 On/Off	Off
		+2 On/Off	Off
27		UPC-E systems number	
		UPC E(0) On/Off	On
		UPC E(1) On/Off	Off
		UPC-E expand to UPC-A	Disable
		UPC-A expand to EAN-13	Disable
28		UPC-A	
		Enable/Disable	Enable
		Check Digits	Send
		Lead Digits	Send
		Add a space	Off
		Addenda required	Off
		+5 On/Off	Off
		+2 On/Off	Off
29		EAN-8	
		Enable/Disable	Enable
		Check Digits	Send
		Lead Digits	Send
		Add a space	Off
		Addenda required	Off
		+5 On/Off	Off
		+2 On/Off	Off
30		EAN-13	
		Enable/Disable	Enable
		Check Digits	Send
		Lead Digits	Send
		Add a space	Off
		Addenda required	Off
		+5 On/Off	Off
		+2 On/Off	Off
		ISSN On/Off	Off
31	1	EAN/UCC128	
		Enable/Disable	Enable
		Code ID	Disable
		Func 1 Char Send	Not Send
	2	Code 128	
		Enable/Disable	Enable
		Check Digits	Disable CDV
		Min Length	5 digits
		Max Length	48 digits
	3	PDF417	
		Enable/Disable	Disable
32		GS1 Databar	Disable
		GS1 Databar Check Digit	Not Send
		GS1 Databar Prefix	Not Send
		GS1 Databar Stacked	Enable
		GS1 Databar Limited	Disable
		GS1 Databar Limited Check Digit	Not Send
		GS1 Databar Limited Prefix	Not Send
		GS1 Databar Expanded	Disable
		GS1 Databar Expanded Stacked	Enable

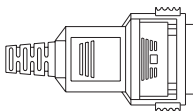
APPENDIX 2

ケーブルピンアサインメント インターフェース：

1. TTL, ワンドエミュレーション

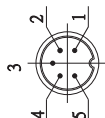
1.1) AMP (D-Sub 9Pin):

Pin	Signal
2	Data
7	GND
9	+5VCC



1.2) Din 5オス(240 degree):

Pin	Signal
1	+ 5VCC
2	Data
3	GND
4	N/A
5	N/A

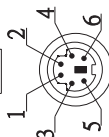
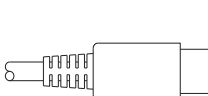


2. キーボードインターフェース：

コネクタタイプ

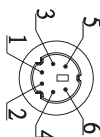
2.1) PS/2 Mini Din6 メス：

Pin	Signal
1	PC Data
2	NC
3	GND
4	+5VCC
5	PC-Clk
6	NC



2.2) PS/2 Mini Din6 オス：

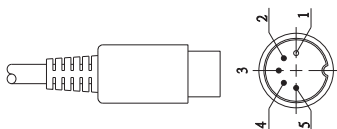
Pin	Signal
1	KB- Data
2	NC
3	GND
4	+5VCC
5	KB-Clk
6	NC



コネクタタイプ

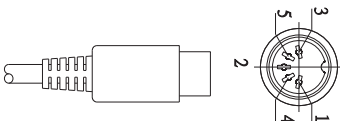
2.3) PC-AT: Din 5 オス :

Pin	Signal
1	KB-Clk
2	KB-Data
3	NC
4	GND
5	+5VCC



2.4) PC-AT: Din 5 メス :

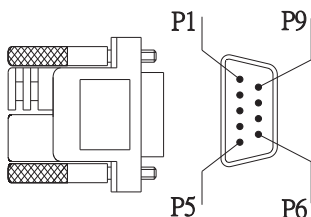
Pin	Signal
1	PC-Clk
2	PC-Data
3	NC
4	GND
5	+5VCC



3.RS232インターフェース :

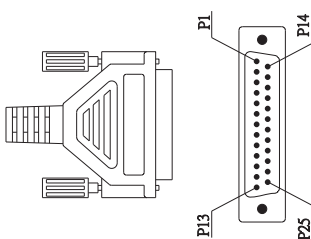
3.1) DB9F

Pin	Signal
2	TXD(Out)
3	RXD(In)
5	GND
7	CTS(In)
8	RTS(Out)
9	+5VCC



3.2) DB25F

Pin	Signal
2	RXD(In)
3	TXD(Out)
4	CTS(In)
5	RTS(Out)
7	GND
16	+5VCC
25	+5VCC



APPENDIX 3

バーコードテストチャート

DENSITY	NARROW mm(mil)	WIDE mm(mil)	CHAR.GAP mm(mil)	N/W RATIO
MEDIUM DENSITY	0.25(10)	0.625(25)	0.25(10)	1/2.5

MEDIUM DENSITY

NW-7
(CODABAR)



b\$:/+.00123B

CODE-39



CODE-39 TEST

Interleaved
2of5



9876543210

UPC



0 31323 112078 6

EAN



4 712567 014012

APPENDIX 3

バーコードテストチャート

DENSITY	NARROW mm(mil)	WIDE mm(mil)	CHAR.GAP mm(mil)	N/W RATIO
LOW DENSITY	0.33(13)	0.825(32.5)	0.33(13)	1/2.5

LOW DENSITY



C9876543210D



CODE-39 TEST



0012345690



4 7 1 6 4 1 5 9 4 2 0 5 2



0 7 1 5 8 9 8 1 2 3 0 8

ID TECH

10721 Walker Street
Cypress, California 90630
(714)761-6368
<http://www.idtechproducts.com>

80126502-001 rev.A